

2016年 3月 1日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市菅野2-14-14-206
 Tel/fax 047-323-3640
 携帯 090-6310-3294
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログ
 http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No. 8 8



2月予算議会 来年度土木費14%増 税金を大型開発につき込む市政

建替え中の市民会館



2月定例市議会は予算議会となります。2月17日は、市長の施政方針演説があり、25日から代表質問、そして、各常任委員会、11日から一般質問と続きます。

市の来年度予算案は過去最大で、1408億円、前年に比べ68億円、5・1%増です。なかでも、土木費が前年度14%増となり、その中身は、第2庁舎整備、市民会館建替、北東部スポーツ施設(テニスコート12面分など)整備など大型事業につき込み、市民の暮らし応援の予算案とはまったく感じられません。

この5年間、市長は何をしてきたか

市長は施政方針演説で、この5年間、何に取り組んできたのか述べました。

持続可能な地域経営をすすめてきた、行財政改革を推進し、菅平いちかわ村の廃止、本八幡駅前にあつた健康増進センターの廃止、保育園の民営化、職員の給与水準と定員の

削減、公の施設の使用料の見直しによる受益者負担の適正化などを行い、歳出の削減と歳入の確保に努力してきた、としています。

つまり、市民負担を増やし、住みにくい街にしてきたということではないでしょうか。

新年度の基本方針は？

将来に渡って持続可能なまちを実現するためには、人口減少や人口構成の変化への備えが必要だとし、これまでの「美しい景観の実現」「福祉の充実と生活の安定」を継続し、新たに「安心して子育てができるまちの実現」と「地域の魅力の向上」を重点方針として、行財政改革を一層すすめていくとしています。

「安心して子育てができるまちの実現」では、出会い・結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援をすとし、

出会いをサポートする「婚活」を花火大会などで企画するそうです。

いま、出会いがないのではなくて、非正規労働者が多数となり、結婚、子育てするだけの生活基盤がないことも大いに原因となっているのではないのでしょうか。

保育園に入れない待機児童は県内トップクラス。保育士の確保もなかなかすみません。他市では様々な工夫をして保育士確保にちからを入れていきます。時給を上げる、住宅補助なども市の事業として行っています。ちらの入れ方が違うのではないのでしょうか。

「地域の魅力の向上」では、まち並み景観事業、ガーデニング事業、市庁舎の整備、武蔵野線沿線事業、道の駅整備事業、北東部スポーツ施設整備事業、外環道路に接続する北国分線、市川鬼高線の用地取得などに多額の税金投入です。

新年度予算案の主なもの

【総務費】

- ・市民会館建替 10億円
- ・文学ミュージアム改修 2億円
- ・北東部スポーツ施設整備 13億円
- ・国府台体育館整備 2億5千円
- ・パスポート発給 1億5千円
(7月～市川で申請・交付)

【土木費】

- ・第2庁舎整備 51億2千円
- ・小塚山公園用地取得 1億8千円
- ・道の駅整備 5億円
(2年間で整備、8億5千万円)
- ・第1庁舎 28年～31年 172億円
- ・用地購入 鬼高線 6億8千円
- ・" 北国分線 3億7千円

北西部地域に コミュニティバスを

「北国分・堀之内地域のバス利用を考える会」

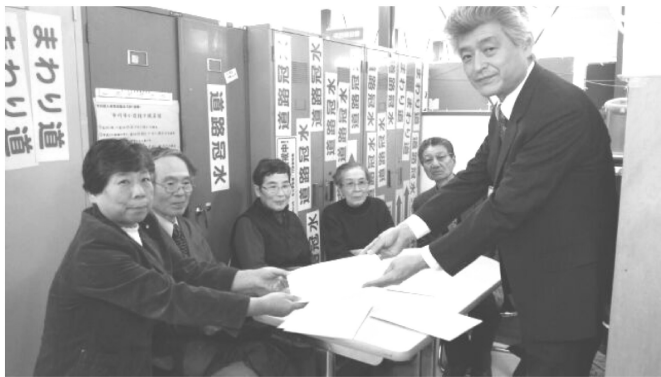
は、この間、京成バスに
国分操作場から北国分駅
へのバスの延伸、増便を
要望したり、住民アンケー
トを実施したり、市にコ
ミュニティバスの導入を要
望し、自分たちでバスルー
トを考えるなど、精力的
に行動しています。

2月23日には、交通計
画課の担当者から、市に
提出した要望書の回答を

聞き取りました。地元住
民など16人が参加。

担当者は、運行指針に
沿って、バスルートの道
路の幅員が4m以下の場
所は通行するのに狭く安
全が確保できない、実際
に運行した際に乗客が確
保できるか心配があるな
ど回答しましたが、住民
は、どうすれば交通不便
地域を解消できるのか、
一緒に考えてほしいと要
望しました。

市川真間地域の 道路改善を要望



2月2日、日本共産党市川真間支部が、市政アンケートに寄せられた、道路改善など9項目にまとめて、市の道路安全課に要望しました。支部では、すべての箇所を調査し、写真を撮り、まとめました。

昨年も寄せられた、ダイエー裏のアイアイロード、カネコビルの前が雨が降ると水たまりとなり、困っているという要望を届け、担当者が現地を見て、すぐに、水がはけるように改善されました。

菅野4丁目で大規模 保育園計画。地域で 見直し求め署名活動

菅野4丁目1番地に社
会福祉法人が「ししの子
保育園 市川（仮称）」
を計画しています。閑静



な住宅地の真ん中に、住
民に事前説明もなく、突
然持ち上がった計画とい
うことでした。

計画地は道路が狭く、
車と歩行者が安全にすれ
違いができない幅員となっ
ています。また、過去に
は消防車も入れず消火に
支障をきたした地域でも
あります。そこに定員1
08名で、朝など園児、
保護者、職員などで車、
自転車、ベビーカーと
ても安全とはいえない地
域です。近隣の皆さんは
いま見直しを求める署名
活動をすすめています。

待機児童解消のため、
保育園の増設は急務です
が、園児の安全の確保や
周辺住民との合意なしに
建設することには疑問を
持たざるをえません。

無料法律相談

◎4月7日(木)

担当 岩橋進吾弁護士

◎5月10日(火)

担当 藤野善夫弁護士

午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

《主な活動報告 1～2月》

☆1月30日 滞納処分・差押問題学習会に参加

東京社保協が主催する学習交流集會に参加しました。基調報告として、税理士で立正大学客員教授の浦野広明氏が「滞納処分をどう見るか」と題して報告、質疑応答が行われました。所得が減り国保税が払えない、学生の奨学金の滞納も深刻であると、2つの裁判を例にあげました。市川市でも、給与や生命保険の差押えなど、きびしい徴収に「何とかしてほしい」という相談が相次いでいます。今回の学習会はたいへん勉強になりました。また、マイナ



ンバー制度についても問題点が指摘されました。

☆2月6日 新春のつどい

午後から、清水地域の新春のつどいをひらき、22人が参加しました。県政報告、市政報告のあと乾杯。自己紹介の時間もたっぷりとり、ピンゴゲームやみんなで歌おうなど、大いに盛り上がり、7月の参議院選挙をがんばる決意を固めました。



☆2月11日 さよなら原発集会の事前宣伝

3月13日(日)に行う第5回さよなら原発集会を成功させようと、市内各駅頭での事前宣伝、チラシ配布、参加の呼びかけを行いました。13日午後2時から、市川駅南公園(駅南公民館裏)で集會、市川駅までのパレードを行います。みなさん、ご参加ください。